

(3) 専門課程Ⅲ

①(地域保健福祉専攻科)フォローアップ調査回答合計集計表

Q1. 本研修は役にたっていますか。

回 答	派遣元	研修生
1 たいへん役に立っている	3(75.0%)	2(25.0%)
2 役に立っている	1(25.0%)	5(62.5%)
3 どちらとも言えない	0(0.0%)	1(12.5%)
4 役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)
5 全く役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)

SQ1-1 (Q1で1, 2を選んだ方へ)どのような点で役に立っていると感じますか。(自由記載)

公衆衛生看護管理者コースに同じ。
 2名共、研修受講後、大学での学びを継続している。本研修受講が動機付けになっていると考える。
 ①県職保健師研修会や保健所管内定例会等において研修内容を報告し、他の保健師への情報提供を行った②県が行う保健師専門研修の企画協力を行い、研修で得た知識・技術を活用した③県の保健師現職教育研修において企画・運営に参画することを位置づけている。
 ①公衆衛生活動の基盤である理念など、整理された②業務する上での、方向性・方針が理解できた(考え方)③統計・プレゼンなど、業務に生かせる。
 活動をする上での視点が広がった。
 地域保健福祉活動を実施していく上で必要とされる地域づくりの展開方法や援助技術、公衆衛生分野におけるリスクや安全管理をどのように捉えるべきか、具体的な講義内容が保健師活動の再確認できた。
 保健事業の企画～評価までの一連の流れを理解し、他の保健師と意識しながら話し合いを進めることができています。
 研修の企画
 特に後半(6月～7月)の保健師だけの研修になってからの内容は現場の業務に直結したものが多く、日々の業務に生かすことができています。
 公衆衛生看護や保健師としての専門性について再認識でき、現場に戻って活動する時の視点がプレゼンに地域の背景や事例を通したニーズ等から必要な事を考えて企画したり、事業評価する力が高められたと思います。理念とスキルを両方学べたことが良かったです。プレゼンテーションの力がつけられた。統計資料などをうまく活用したり、根拠の見せ方などが学べた。

SQ1-2(Q1で4を選んだ方へ)役に立っていない理由

--

SQ1-3(Q1で5を選んだ方へ)全く役にたっていない理由

--

Q-2. 今後も本研修に職員を派遣したいと思いませんか。

回 答	派遣元
1 ぜひ派遣したい	3(75.0%)
2 派遣したい	1(25.0%)
3 どちらとも言えない	0(0.0%)
4 派遣したくない	0(0.0%)
5 絶対派遣したくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)派遣したくない理由

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対派遣したくない理由

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

細かい領域のプログラムを準備して頂いており、各々のコースに最新の保健医療情報が盛り込まれている為、内容的にも充実していると思う。一方で今後の保健行政の動向として、地域ケアや住民との協同といった地域福祉保健問題への取り組みが期待されている。今後はそういった福祉・保健領域に関するコースの充実を期待したい。

長期研修(1年コース・3ヶ月コース)受講の保健師は本県の公衆衛生看護の現場で指導的な存在として活躍している。地域保健活動・公衆衛生看護活動の現場での実践者育成のため、長期研修の継続を希望する。

Q-2. 本研修を他の人に勧めたいと思いますか。

回 答	研修生
1 強く勧めたい	0(0.0%)
2 勧めたい	7(87.5%)
3 どちらとも言えない	1(12.5%)
4 勧めたくない	0(0.0%)
5 絶対勧めたくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)勧めたくない理由

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対勧めたくない理由

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

その節はお世話になり、ありがとうございました。業務をかかえながらということ考えると1~2日で学べる多岐にわたるテーマの講座が用意されているとありがたいと思います。

大変充実した研修でした。参加できて良かったと思います。

保健活動に関することを中心にしながら疫学や保健統計、組織管理等、幅広く、学べたことは良かった。全体のプログラムの配分としては総論にける時間が多すぎるように感じ、もっと各論で深く学びたかった内容もありました(特に社会福祉)。虐待・災害時の保健活動、現任教育に関する教育に関する内容は具体的で現場ですぐ参考に活用できる内容でとても良かったです。精神保健・感染症・難病・母子～高齢者までライフサイクル別の活動について各論としてもう少し深く学べると良かったと思います。

研修主任の総括的コメント

研修修了対象者8名中(18年度3名、19年度5名:保健師8名)、回答者は研修生8名、派遣元3名である。本研修の役立ち状況について、派遣元は100%、研修生の9割が役立っていると回答し、その内容は公衆衛生活動の基盤が整理できた、方向性・方針が理解できた、保健事業の企画～評価までの流れの理念とスキルの両方を学びえて業務に活かしている等満足した意見である。派遣元は今後の派遣について、是非派遣したいとの意見が8割と多く、「他の人に勧めたいか」の研修修了生の回答でも「勧めたい」が9割と多かった。科学院の研修全般へのご意見として、派遣元は、内容が充実している、保健・福祉領域での地域ケアや住民との協同に関するコースの充実を期待する意見であり、研修修了生からは総論にける時間が多すぎた、精神保健、感染症、難病、母子～高齢者までのライフサイクル別の活動などを各論で深く学びたかった、1~2日で学べる多岐にわたるテーマの講座を希望する意見があった。地域福祉専攻科は3ヶ月であり、研修後に職場に戻って、学んだことを直ぐに活動展開できる為と思われるが、満足度の高い地域保健福祉分野修了生とは異なる意見であった。

個別質問

(地域保健福祉専攻科)フォローアップ調査

1-(1)研修で学んだ判断の基礎となる最新の公衆衛生の動向について

①保健所内で伝達、説明ができた	1(25.0%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	1(25.0%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	0(0.0%)
④特に伝達、説明はしていない	2(50.0%)

1-(2)研修で学んだ判断の基礎となる最新の公衆衛生の動向を

①現場における判断に大いに生かすことが出来た	0(0.0%)
②現場における判断に少し生かすことが出来た	1(25.0%)
③現場における判断にあまり役立たなかった	1(25.0%)
④どちらともいえない	2(50.0%)

①、②に回答した方にお聞きます。

具体的にどのような際の判断に生かすことができましたか。

医療制度改革の関係で、医療計画を策定する時などの視点として。

2-(1)研修で学んだ地域の健康問題と公衆衛生活動の見直しについて

①保健所内で伝達、説明ができた	1(25.0%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	1(25.0%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	0(0.0%)
④特に伝達、説明はしていない	2(50.0%)

2-(2)研修で学んだ地域の健康問題と公衆衛生活動の見直しについて

①保健所内で事業評価を実施することができた	3(75.0%)
②県(市)内で事業評価を実施することができた	0(0.0%)
③管轄市町村で事業評価を実施することができた	0(0.0%)
④まだ事業評価には取り組んでいない	1(25.0%)

3-(1)研修で学んだ公衆衛生における指導者の役割について

①保健所内で伝達、説明ができた	2(50.0%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	0(0.0%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	0(0.0%)
④特に伝達、説明はしていない	2(50.0%)

3-(2)研修で学んだ公衆衛生における指導者の役割について

①現場において大いに指導者の役割を発揮できた	0(0.0%)
②現場において少し指導者の役割を発揮できた	3(75.0%)
③現場における指導者の役割発揮にあまり役立たなかった	0(0.0%)
④どちらともいえない	1(25.0%)

①、②に回答した方にお聞きます。

具体的にどのような役割を發揮することができましたか。

担当事業についてメンバーに意識的に関わる(コーチング)ことができた。
 新人指導を業務をとおして行う上で、コーチングの視点を取り入れるようにした。
 新人等の育成指導・事業や業務を見直す指導や取り組みの助言について

3-(3)公衆衛生活動の課題(自然災害時活動、児童虐待など)について

①現場における課題への取り組みに大いに生かすことが出来た	0(0.0%)
②現場における課題への取り組みに少し生かすことが出来た	1(25.0%)
③現場における課題への取り組みにあまり役立たなかった	0(0.0%)
④どちらともいえない	2(50.0%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的にどんな課題への取り組みにどのように生かすことができましたか。

高齢者虐待における機関連携やケース共有について
 対人業務・相談対応に即、生かすことができた。災害時活動は所内研修を行った。

4-(1)人材育成のための体制、方法について

①保健所内で伝達、説明ができた	2(50.0%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	1(25.0%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	0(0.0%)
④特に伝達、説明はしていない	1(25.0%)

4-(2)人材育成のための体制、方法について

①現場における現任教育に大いに生かすことが出来た	1(25.0%)
②現場における現任教育に少し生かすことが出来た	2(50.0%)
③現場における現任教育にあまり役立たなかった	0(0.0%)
④どちらともいえない	1(25.0%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的に現場教育にどのように生かすことができましたか。

人材育成に関わる人、役職の人達への伝達。

OJTの実施

中堅なので、後輩指導に生かしたが、所内全体の体制に生かすには至っていない。

5-(1)保健計画の策定過程で重視すべき点について

①保健所内で伝達、説明ができた	1(25.0%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	0(0.0%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	0(0.0%)
④特に伝達、説明はしていない	3(75.0%)

5-(2)保健計画の策定過程で重視すべき点について

①現場における計画策定に大いに生かすことが出来た	0(0.0%)
②現場における計画策定に少し生かすことが出来た	2(50.0%)
③現場における計画策定にあまり役立たなかった	0(0.0%)
④どちらともいえない	2(50.0%)
⑤計画策定に生かす機会がなかった	0(0.0%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的に計画策定にどのように生かすことができましたか

計画作りの際に意見を出したり、所内で方向性を検討するプロセスの大切さを伝えたりした。
地域保健事業の企画・評価における研修会の助言

6—(1)保健活動における効果的なプレゼンテーションについて

①保健所内で伝達、説明ができた	1(25.0%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	0(0.0%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	0(0.0%)
④特に伝達、説明はしていない	3(75.0%)

6—(2)保健活動における効果的なプレゼンテーションについて

①現場におけるプレゼンテーションに大いに生かすことが出来た	1(25.0%)
②現場におけるプレゼンテーションに少し生かすことが出来た	1(25.0%)
③現場におけるプレゼンテーションにあまり役立たなかった	0(0.0%)
④どちらともいえない	2(50.0%)
⑤プレゼンテーションの機会がなかった	0(0.0%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的にどんなプレゼンテーションの際にどのように生かすことができましたか。

自分の仕事について、上司等への説明で役立った。

自殺対策のデータをまとめて研修会などでプレゼンした。

7—(1)研修に参加して高まった保健活動へのモチベーションややる気・元気等が

①現場でより一層高まっている	0(0.0%)
②現場で維持されている	4(100.0%)
③現場で低下してきている	0(0.0%)
④研修ではとくに高まらなかった	0(0.0%)

③に回答した方にお聞きします

現場に戻って保健活動へのモチベーションややる気・元気が低下した原因はなんですか。

7—(2)研修で構築された他の参加者とのネットワークについて

①現場において大いに生かすことができた	0(0.0%)
②現場において少し生かすことが出来た	1(25.0%)
③現場においてあまり役立たなかった	0(0.0%)
④現場において今のところ生かす機会がなかった	3(75.0%)
⑤研修でネットワークはできなかった	0(0.0%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的にどんなプレゼンテーションの際にどのように生かすことができましたか。

他県の活動に関して情報交換できた(資料を頂いた)。活動に対する考え方などをディスカッションできた。お互いに頑張っていることを話し合ったりしてモチベーションを高めた。

8. 研修終了から現時点での思いや、研修に対する意見・要望があればご自由にお書き下さい。

疫学や統計は、施策立案の根拠となるデータとして、今でも、もう少し身につけられたらと思っています。環境衛生の時間をそういった教科の基礎や、公衆衛生看護に充てるのも一案かと思います。色々ありがとうございました

研修では全国からの参加者と交流・情報交換できて、ネットワークを広げる事ができました。保健活動・公衆衛生の基本に立ち返り、自分の実践を振り返ることでこんな風にやっていきたいという信念を持つ事ができた。概論も大切だが、研修全体に占める割合が大きいので、もう少し具体的な実践レベルに落とした話をもう少し多く盛り込んで欲しいと思います。研修参加できて良かったです。ありがとうございました。

担当責任者の評価、分析、コメント

研修修了対象者8名中(18年度3名、19年度5名:保健師8名)、回答者は研修生4名である。地域福祉分野同様に個人の資質向上にはなっているものの、伝達・説明がなされていないと答えるものが多く、ここでも研修生、派遣元、本院のキャッチボールの問題が浮上し、研修の在り方について検討を要する課題である。また、7-(2)の研修で構築された他の参加者とのネットワークについて「現場で活かす機会がなかった」との意見も多かった。

②(安全管理研究科)フォローアップ調査回答合計集計表

Q1. 本研修は役にたっていますか。

回 答	派遣元	研修生
1 たいへん役に立っている	9(64.3%)	8(61.5%)
2 役に立っている	5(35.7%)	5(38.5%)
3 どちらとも言えない	0(0.0%)	0(0.0%)
4 役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)
5 全く役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)

SQ1-1 (Q1で1, 2を選んだ方へ)どのような点で役に立っていると感じますか。(自由記載)

安全管理をキッチリ理論的に身につけ、院内に影響を及ぼしてくれている。またプロフェッショナルとしての意識を身につけておられる。

新しい取り組みや医療安全などの研修を積極的に実施している。

当センターでは、H18.4に医療安全管理室が設置され、医療安全管理者として任命されたが、何をどう進めてよいのかわからなかった。科学院の研修を通して自施設を評価し、課題を見出せた事、多くの講師、研修生徒の交流から、安全管理の視野を広げる事ができた。

全国レベルでの知識が得られる事や、他施設との情報交換ができることで、本人のふりかえりにつながった。また、現場の安全文化推進に向け新たな発想ができた。

医療安全の動向を理解できた事、事象発生時の対応(苦情・クレーム)、委員会の運営のあり方など、研修で学んだことを活用できる。

院内の安全管理者として自覚し、医療安全の中心的役割を積極的に遂行している。

安全管理を、時間をかけて基礎から学ぶことができた。

分析手法等、演習で行った内容を実践の場で活用する事ができることは役に立っていると感じる。ただし、まだまだ経験を重ねていかないと分析手法も他職種を交えてまでに発展していない。

考え方の視点が変わった。

目的にあるように、安全管理に関するあらゆる知識を補強できた。そして院内システムの整備や安全管理室設置への大きく寄与できる知識と技術・方法論を得た。

①知識の向上②同じ立場の人達との出会い。

院内での医療安全管理—教育方法や危機管理室管理などの進め方

研修会やプレゼンテーションを行う時等、方法やスライド等、経験した事が役立っていると感じています。

①院内、外の研修企画②ヒヤリハットの分析・対策・評価等の安全活動への応用③研修生間の情報交換

研修や学習会を実施する際に、研修の仕方スライドの作り方等役立っています。

①医療安全管理講習会企画に有効②クレームへの対応、解決について学べたこと。

①RCA分析を院内に導入②手術前のタイムアウトの導入

安全管理を実施していく上で、いろいろな視点から見られるようになった。

医療安全の動向が理解できた事で、指針の作成においても役立った。また、分析手法を学ぶことができたので、研修を終えて現場に復帰した際もすぐに実践することができた。

①医療安全に関する講師依頼がある時に参考になっている②院内の医療安全活動の基礎になっている。事故発生時の対応・看護管理・Q1に関する取り組み

研修終了後、安全管理者の専任となったが、その任務を遂行する上で、必要な基本的な知識と技術を確保できたので、役割遂行上の不安が軽減できた。又、多大な資料もあり、調べる方法も得た。実際場面・インシデント・アクシデント分析とフィードバック(RCA)・教育研修・安全管理者のコンビナンス・クレーム対応

①院内でのインシデント事例の分析・対策立案などに学んだ手法を応用している②近隣の医療施設での研修会等に活用している③県看護協会の安全活動に活用している。

①安全管理の基礎を学ぶ事ができた。(考え方・分析方法)②全国に安全管理者の友人(仲間)ができた。現在もよく連絡を取り合っています。

どの講義も第一線で活躍される方のお話して最新の話が聞けた。卒業生の話やつながりがあり、研修が終わっても相談できる。立場や経験が異なっても、それがいい刺激となり、先輩方のやり方など、参考になった。短期間では学べる内容ではなく、とことん学べ、点が線になってきていると思う。

「医療安全」の概念・組織として取り組むことの重要性和その職責の重さを感じる。一つ一つ実践できるまでに至らなくてもその職責を果たす為にはどうしたらYI化と行った時に、講義で学んだ内容を振り返ると思い出されてくることや、このように行動しなくてはという気持ちになり、勇気が出てきます。

研修内容を業務に活用しているが、それ以上に人脈ができた。

①習得した知識の活用を心がけています②安全に関する考え方や周辺領域との関連性が理解できた③安全教育を行うにあたってのヒントを得られたこと、活用しています④同じ立場の方々と交流が図れた⑤修論のことを思い出した。集中して一つの事を調査し、まとめる大切さ。もっと学生気分でしたかったです…

SQ1-2(Q1で4を選んだ方へ)役に立っていない理由

SQ1-3(Q1で5を選んだ方へ)全く役にたっていない理由

Q-2. 今後も本研修に職員を派遣したいと思いませんか。

回 答	派遣元
1 ぜひ派遣したい	6(42.9%)
2 派遣したい	8(57.1%)
3 どちらとも言えない	0(0.0%)
4 派遣したくない	0(0.0%)
5 絶対派遣したくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)派遣したくない理由

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対派遣したくない理由

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

全般について理解は不十分ですが、理論と実践のバランスよく、今後も勉強させて頂きたいと思えます。高いレベルの研修を提供されており、認定制度なども導入する事で、より効果があがると思う。また、研究開発に貢献するということは、現場の状況が正しく分析できるという大きなメリットにもつながっている。

研修期間を短縮できないか、ご検討ください。

一番良かったのは同じ立場の仲間ができたことです。現在でもよく連絡を取り合い、相談させてもらっています。ただ、長期の研修なので、病院の事情もそうですが、家庭の事情で参加できないケースがあると思います。

その分野にかけては大変有名な講師による講義であるため、研修のプログラムの内容は充実している。

①人員の問題で長期間研修へ出しにくい②認定のような資格に結びつかないため、個人レベルで研修に行って安全管理者業務をしたいというものができにくい。

何でも相談できる仲間ができたことは何より財産となっています。できるだけ多くの仲間ができる環境を作ってもらえれば、辛いことも乗り越えられると思います。

自院の不十分な点「マニュアル指針等」を見直す機会があればより効果的ではないかと感じています。自院研修時に「これは…」と検索しましたが、ではどうしたらよいかという部分で現在も迷っております。

病院マネジメントや医療安全に関する幅広い研修受講が可能で研修内容も吟味されており、実践に役立つ研修が多く、企画されていると思います。宿泊施設が完備されている事も魅力です。

Q-2. 本研修を他の人に勧めたいと思いますか。

回 答	研修生
1 強く勧めたい	7(53.8%)
2 勧めたい	6(46.2%)
3 どちらとも言えない	0(0.0%)
4 勧めたくない	0(0.0%)
5 絶対勧めたくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)勧めたくない理由

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対勧めたくない理由

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

研究期間に自院での不足しているもの(マニュアル等)について検討できたらより役立ったと認識できると感じています。

同期間に開講されている研修に対して関連がある内容を聴講できるシステムがあると良いと思います。

困った時に相談できる友人ができ、いろいろな意味で良い財産となった。

地方ではなかなか聴講できない講師の方々の講義を受ける事ができて貴重な体験になりました。

医療安全管理者の役割、コンピテンシーを明らかにして欲しい。その上で初級・中級・上級とステップアップできるコースが欲しい。理由)研究科の研修生の背景が様々であったので、それぞれの求めるレベルや内容の思いと、授業内容がそれに対応していなかったように感じました。

本研修に多くの人が参加できるようにして欲しい。

別紙参照

研修では安全管理に関わる内容を殆ど学び終える事ができたと思います。ただ長い研修なので病院側も人材を一人出すのは大変です。また研修に行く本人も仕事を持ち込みながらの研修なので、それも大変です。後継がいればいいのですが…いないのが現状です。

私達が受講した時は、受講生4名と最初はびっくりしてましたが、ゼミ形式で毎回楽しかったです。受講したら、はい終わりではなく、フォローアップなどもあり、継続して学べると思います。ただし、6ヶ月の研究科という事なので資格認定制度にならないものか…と強く思います。

一流の良い講師に恵まれている上、講義内容も充実しています。また演習も苦手な部分があったものの、効果がありました。自院研修については大変だと感じましたが、これはやらないといけない事なので、研修の中身として必要な事だったと思っています。他病院の見学はとても役に立ちます。ただ、自院と比較すると病院の取り組みにおける格差を感じました。種田先生のご指導は本当に言い尽くせないほど、お世話になりました。

各種関連学会等で、会場に同窓ブースを設ける事はできないか?受講経験者が全国規模でいる科学院なので可能だと思います。

医療安全の分野は医療事故研究元年といわれる1999年からわずか10年余りです。どんどん新しい知見が増えてきている中、関連領域も含めた最新情報を科学院研修に期待しております。また、科学院の講座につきましては一方面的な考え方のみならず、今後とも多方面からの考え方を広く提供していただけるようお願い申し上げます。

研修主任の総括的コメント

研修内容そのものが役立っているだけでなく、研修を通して習得した様々なスキル・態度(発表の仕方や自院での研修の企画、自身の医療機関以外での医療安全普及活動など)、そして何よりも継続して相談ができる仲間が得られたことは、自院で孤立しがちな医療安全管理者の大きな支援・財産となっていると思われる。今後の課題としては長期間にわたる研修であり、各医療機関で欠かせない存在である医療安全管理者が不在になってしまうので研修期間への配慮、また研修終了したことで何らかの認定・資格のようなものを付与できればさらに活動がしやすくなると思われる。さらに医療安全は日進月歩で新しい知見・制度等の変更が出現し、研修終了後も継続して学ぶ機会や、学年を超えて研修参加者が情報を共有できる場を提供することが、望まれていることでもあり、科学院が本研修を通して全国の医療機関における医療安全の底上げに貢献できることにつながるだろうと思われる。

個別質問

(安全管理専攻科)フォローアップ調査

科学院での研修の報告

Q1. 科学院で研修された内容を何らかの形でどなたかに報告されましたか。

1. いいえ	0(0.0%)
2. はい	9(100.0%)

Q1-1. どなたに報告されましたか。該当するものを全て選んで下さい。

1. 院長	7(77.8%)
2. 所属部署の責任者(看護部長、等)	8(88.9%)
3. 安全管理委員会	3(33.3%)
4. 一般職員	4(44.4%)
5. その他	4(44.4%)

その他

PSM(ペイシェントセイフマネジメント)委員会 医療安全管理者(副院長、専従看護師) 県支部看護協会 看護安全対策委員会の中で委員に向けて及び理事長へ書類で提出

Q1-2. どのような形で報告されましたか。

1. 口演	7(77.8%)
2. 書類等の提出	8(88.9%)

口演

医療安全研修会の中で、研究テーマのアンケート結果、考察内容を中心に報告。 パワーポイント 研修会で自分の研究を報告した→全職員対象 各種院内研修会・院内研究発表会・県RM研修会(RCA)・地区研修会(RCA) パワーポイントや資料を作成し、講義室にて実施

書類等の提出

研修項目に沿ったまとめ、自分の研修目的の達成度、今後の課題、所感等を報告。 カリキュラムの内容とレポートの提出・医療安全管理者としての業務計画書の作成・提出。 看護部及び医療安全管理室 復命書と研究論文・自院研修の内容 研修報告書 出張報告書(院内規定書類)を研修中より終了まで継続して提出した。 復命書
--

1-3.報告に対して何らかのフィードバックがありましたか。

1.はい	5(55.6%)
2.いいえ	4(44.4%)

フィードバック

記述

研修内容を活かして、今後の医療安全管理者として活動して欲しい旨のコメントがありました。
院内報告システムについて。

専任の安全管理者となった。院内医療安全管理委員会委員長として任命。

院長直属の部署に医療安全管理課が設置され、配属された。

科学院での研修の活用

Q2. 科学院で研修した内容をこれまで活用する機会がありましたか。

1.全くない	0(0.0%)
2.ほとんどない	0(0.0%)
3.ときどきあった	4(44.4%)
4.頻繁にあった	5(55.6%)

Q2-1科学院で受けられた研修はどの程度役立ちましたか。

医療安全の今日的課題

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

医療倫理と医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

事故の疫学

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	3(33.3%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

安全管理に必要な疫学・統計法

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	3(33.3%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

医療事故の実態と事故情報解析

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

院内報告(インシデント・アクシデント)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

個人情報とADR

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	6(66.7%)

真実告知

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	6(66.7%)

危機管理総論

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

医療事故への対応

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

医療事故と剖検の意義(Ⅰ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

医療事故と剖検の意義(Ⅱ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	6(66.7%)

危機管理演習

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

医療に係わる賠償責任と医療事故

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	1(11.1%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

医療訴訟の現状

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

マスコミ・訴訟対策

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

院内報告システム・医療事故当事者支援

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

BSCと医療の質

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	4(44.4%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

自院研修内容策定(Ⅰ)、研究計画策定(Ⅰ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

苦情ケース演習

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	3(33.3%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

精神科と医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	1(11.1%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

輸血と医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	1(11.1%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

長期ケアと医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

苦情対応システム

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	3(33.3%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

医療者のメンタルヘルスケア

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	1(11.1%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

ICU、医療機器の医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	1(11.1%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

自 院 研 修 (I)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

自院研修発表検討会（Ⅰ）

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

RCA総論

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	6(66.7%)

RCA演習（Ⅰ）

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	6(66.7%)

RCA演習（Ⅱ）

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	6(66.7%)

RCA演習（Ⅲ）

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	6(66.7%)

情報リテラシー（Ⅰ）

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	7(77.8%)
5.大変役立った・役立っている	0(0.0%)

ヒヤリハット分析と医療事故

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

FMEA総論

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

FMEA演習(Ⅰ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

医療コミュニケーション

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

研究計画策定(Ⅱ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

クリニカル・ガバナンス

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	3(33.3%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

FMEA演習(Ⅱ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

歯科と医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	1(11.1%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

終末期医療と医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	3(33.3%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

情報リテラシー(Ⅱ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	6(66.7%)
5.大変役立った・役立っている	1(11.1%)

施設計画から見た安全管理

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

RRGA、HFMEA演習(Ⅲ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

自院研修内容策定(Ⅱ)、研究計画策定(Ⅲ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	3(33.3%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

コンフリクト・マネジメント

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	6(66.7%)

出産における安全管理

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	1(11.1%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

病 院 見 学 (Ⅰ)(武蔵野日赤)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

医療放射線と安全管理

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	1(11.1%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	7(77.8%)
5.大変役立った・役立っている	1(11.1%)

安全文化と組織診断

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	6(66.7%)

卒後安全教育とコンピテンシー

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

CSと医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	6(66.7%)

臨床指標

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

セクハラ・労働安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

薬剤管理と医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

医療安全対策の今後の方向性

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

航空安全と医療、CRM

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	1(11.1%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

VTA演習

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	1(11.1%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

医療者のメンタルヘルス

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

安全確保と医療の質

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

患者参加の医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

病院見学 (Ⅱ)(日本医大)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	2(22.2%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

自 院 研 修 (Ⅱ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

自 院 研 修 発 表 検 討 会 (Ⅱ)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

院内医療安全教育

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

医療安全管理者の業務

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

救急と医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	7(77.8%)
5.大変役立った・役立っている	1(11.1%)

安全管理と組織文化

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

医療の質

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	4(44.4%)
5.大変役立った・役立っている	5(55.6%)

小児の医療安全

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	3(33.3%)
3.どちらともいえない	4(44.4%)
4.少しは役立った・役立っている	1(11.1%)
5.大変役立った・役立っている	1(11.1%)

研究計画策定(IV)

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	2(22.2%)
4.少しは役立った・役立っている	3(33.3%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

DPCと医療の質

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	3(33.3%)

医療安全シンポジウム

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	1(11.1%)
4.少しは役立った・役立っている	6(66.7%)
5.大変役立った・役立っている	2(22.2%)

研究活動および論文作成

1.全く役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
2.あまり役立たなかった・役立たっていない	0(0.0%)
3.どちらともいえない	0(0.0%)
4.少しは役立った・役立っている	5(55.6%)
5.大変役立った・役立っている	4(44.4%)

Q2-2. 他にどのような研修科目が役立つと思いますか。

①医療安全とコミュニケーション(看護師の立場、視点)②インシデントの分析の方法について、もう少し時間をかけて対策まで検討できるようにしていただきたい。

私は看護師ですが、院内の医療安全管理は、他職種と一緒にインシデントを分析・検討する。放射線科や病理科など、特殊な部署で発生するインシデントに対し、理解することも難しい時もありました。そういった部署(他部署)のインシデント発生現状やリスクを知る機会があったらもっと良いと思います。

コミュニケーションスキル

KYT

他院で行われている医療安全活動の具体例、参考資料の提供がもっとあると自院での活動にすぐ活用できる。

苦情クレームの初期対応などももう少し時間をとって演習をしてほしい。

①院内暴力発生時の対応②電子カルテシステムにおける安全性

周知項目の優先度判断、周知方法の選択肢、周知度の検証方法などについて重要なことわかりやすく伝える技術についてetc、CMディレクターなどから学ぶ。

Q2-3. 研修中に行った研究を学会等で発表したり、自院での活動に利用したり、何らかの形で活用されましたか。

1.はい	7(77.8%)
2.いいえ	1(11.1%)

具体的にどのように活用されましたか。

アンケート結果を自院用にまとめ直し、研修会時に報告した。安全文化の醸成について全職員に考えてもらう機会になった。

現在、その後の評価を行う目的で研究中。

医療マネジメント学会

院内で研修会に使用

①院内研究発表会②全社連医学会総会で発表し、学会賞を受賞した③院内暴力マニュアルが作成された。監視カメラ設置・ポスター貼る・防犯ブザー導入

委員会の中で一部報告

①卒後臨床研修セミナーにて、医療安全管理の講義を実施②新規採用職員対象の医療安全のオリエンテーションに活用

院外での講義や学会運営に活用した。

Q2-4. あなたは他の方々にも科学院での本研修を薦めたいと思いますか。

1.はい	8(88.9%)
2.いいえ	0(0.0%)

理由

医療安全の基礎から、多様な項目を学ぶ事ができました。また、研修生と一緒に考え、悩んだ事が、今の活動の中で活かされています。特に御指導下さった、種田先生、研修生間での情報の交換などに役立っています。

自分自身、とても役立っているから。

半年間は研修のあと、少し負担があります(認定と間違われます)

医療安全に関する新しい情報を得る事ができる。又、医療安全に関する意識づけにもなる。

①全体の視野が広まり、万法論を学べる(実践もするので何とか目力で頑張れる)②ネットワークができる。

(医療安全に関して)基本的な考え方から身につけ、どうあるべきかという信念を持って臨む事ができる。

①科学院内・外の医療安全に関わるスペシャリストから医療安全に関する基本知識と関連領域の知識を幅広い視点で直接講義を受講できる唯一の企画である②医療安全に関わる研究の指導体制が充実している。

安全管理全体と医療の室についても学ぶ事ができる。

現在の業務・活動

Q3. あなたの現在の業務は何ですか。それは科学院での研修を受ける前後で変わりましたか。

現在は医療安全管理者として専従で業務を行っています。研修前は看護部に所属しておりました。

医療安全管理者(医療安全管理質配属決定し、病院から科学院の研修をすすめられた)。

①薬剤師としての一般業務②管理業務③医薬品安全管理者としての業務④研修後、薬剤関連の安全に関わる情報をNsに提出するようになる。

ゼネラルリスクマネージャー。業務は変わっていません。

現在も一般病棟勤務だが、委員として活動、又、医療安全管理者と共にラウンド等を行い、十分とはいえないが、安全管理に携わっている。

受講前は病棟看護科長と医療安全管理委員会メンバーであったが、受講1年後の3月から専従の医療安全管理者となり、医療安全管理室の設置が同時であったため、大変であった。医療安全管理委員会委員長も命ぜられた。

①院内の専従医療安全管理者として勤務(研修後)②研修前は外来主任として勤務

①医療安全に関する業務全般を管理する②特に変更なし

副看護部長兼医療安全管理監にH20年度からなった。

Q3-1. 科学院での研修後、どのような活動をされましたか。ご自身の医療機関または他の医療機関において何らかの改善がなされましたか。

①院内の医療安全管理者として、ヒヤリハット等の分析、対策の立案を中心に展開②県内の看護協会の医療・看護安全対策委員会のメンバーとして活動③自院周辺施設等への講師として派遣④③は科学院の研修内容を本に構成している。

①タイムアウトによる安全確認の導入②分析手法としてRCAの導入

①内服自己管理プログラムの見直し②救急カードの統一③危険薬のセット化

看護協会等からの依頼の研修

医療安全ラウンドの充実、5S活動、医療安全後援会の企画・運営、RCA分析の参加と研修等の実施など。

①マニュアルの改訂②ハンドブック作成③報告書の改訂④安全管理室の設置⑤相談窓口の設置⑥事故分析・RCAをチームを組んで行う(多職種からなる)⑦看護部内でも定期的にRCA

研修後、専従医療安全管理者として活動、医療機器安全担当者と協力し、院内BLS・AED講習会を立ち上げ、展開している。

院内:医療安全推進活動、医療安全推進者への支援活動

①医療安全マニュアルの見直し②安全に関連した業務改善③医療安全組織の改正(H20年度)

Q3-2. 現在の業務における課題は何ですか。その課題の原因は何だと思われますか。

医療安全と品質を併せて管理している部署で業務を行っているが、医療安全については、分析の支援やデータのまとめなど、一人で行っている現状である。専従といっても実際には、医療安全に関する苦情などを対応する目的で、午前中のみ、総合案内の業務も支援している。選任できるものがもう一人確保できると良いと思っています。医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者は、薬局長、ME科長の兼務のため、従前と活動内容が変わっていない。

インシデント報告システムの電子化→現在一人で業務を行っているため、提出された報告書(紙)をエクセル入力し、集計も行っているため、時間を大幅に取られてしまう。これが電子化されることで、院内ラウンド等、他の業務にもっと時間をかけられる。

①職員の危機意識の欠如②周知徹底のしくみ→原因@組織?コミュニケーションエラー・組織風土など

院内の周知方法

研修での学びを十分生かしきれていない。原因:自己研鑽不足と病棟業務との兼務など。

①業務内容の明確化と分担(かなりの業務を担っている)②マンパワーを増す(現在一人)→安全管理室③事故事例対応

①データ管理(報告書)が追われている研修会(スタッフ向け)や現場の対策へのアプローチをもっと実践していかなければならないが、なかなか追いつかない②事務職の安全管理に対する考え方・組織作りへ事務職も主体性を持って積極的に取り組んでもらえるように働きかけが必要③原因はデータ管理については、電子システムの導入を検討中。医療安全管理を担当する専従のものが看護師1名のみであるため、マンパワー不足もある。

各部門、各部署で発生した事例への対処などが表面的な解決になっている事が散見される。理由として事例分析の考え方、演習などを医療安全推進者、職員向けの需要があるにもかかわらず、供給できていない。

Q3-3.今後の活動予定について教えてください。

①当面は現職務を遂行②県看護協会医療安全活動をさらに活性化できるよう努力したいと考えております。

①院内の医療安全活動②県内の医療安全に係るNsとの安全への取り組み(ワーキンググループとしてそれぞれ課題を決めて行っている→看護協会主催)③院外の看護師への教育として、医療安全に関する講義→当院教育担当主催※これらは今年度行っていることで、今後も行っていく予定。

①薬剤師としての一般業務・管理業務②医薬品安全管理者としての業務

県内のGRMのネットワーク作り

医療安全管理者と共同して研究や日々のラウンドの充実など少しずつ活動範囲を広げていきたい。

①医療安全管理の業務内容の整理と周知②全職員から、連絡や相談がしてもらえる体制作り③インシデント報告の解析したもののフィードバック

院内の専従安全管理の担当者として継続中。

職種横断的に事例分析についての講義・演習企画と実施。その際、卒後臨床研修医の参加を必須条件とする。

研修後の交流

Q4. 科学院での研修終了後に研修を通じて知り合った方々(研修生、卒業生、講師、等)と、交流がありますか。

1.はい	7(77.8%)
2.いいえ	1(11.1%)

はいの内訳

1.同期の研修生	6(66.7%)
2.同期ではないが同じ研修の卒業生	4(44.4%)
3.科学院の講師	6(66.7%)
4.科学院以外の講師	1(11.1%)
5.科学院の教務課スタッフ	0(0.0%)
6.その他	0(0.0%)

その他の具体例

具体的な交流の内容を教えてください

①ヒヤリハット等が発生した場合の対策等について相談している②各研修会等と一緒に参加し、情報交換している③院内での研修会講師等への依頼をしている

何か困った事があれば、メールで相談。他施設の情報交換を行っている。

電子メールでの情報交換

メールでの情報交換、学会での情報交換

①インターネットで相談②研修会で会う③講師の先生のお声かけで研修のお手伝いを通し、他期と知り合う。

メール交換・講師の方の訪問

医療安全管理に関わる業務のことでメールなどでやり取り、医療安全に関わる学会などで直接交流。

いいえの理由

今後の科学院での研修への参加

Q5. 科学院での医療安全研修において、依頼があれば、ご自分の活動をご紹介頂き、共有してもよいと思われませんか。

1.はい	3(33.3%)
2.いいえ	5(55.6%)

ご紹介頂ける具体的なテーマや内容などを教えてください

今はまだ具体的には何とも言えません。

現在は医療安全管理者の補助的な活動しかしていないため、あまり講義等行える内容はありません。Rca等の分析の際のお手伝いなら可能かと思えます。

有害事象事例における調査検討会企画及び家族の参加への対応について

担当責任者の評価、分析、コメント

“- 回答して下さった方々全員が何らかの形で研修されたことを自身の医療機関で報告し、その後、学んだことが活用されていることがわかった。

- 学んだことを実際の現場で活かすためには様々な障害が想定されるが、各医療機関に戻った後、具体的に個別の講義が役立っているかどうかについて意見がきけたことは大変有意義だったと思われる。ほとんどの講義が役立っているという中で、少数意見ではあるが現時点で役立っていない(もしくは役立てられていない)という意見の講義もあり、毎年講義内容を見直す中で参考にしていきたい。

- 研修後も研修を通して知り合った仲間や講師等との継続した交流がほとんどの回答者から報告され、研修内容そのものに加えてその後の情報交換・共有・相互支援の基盤となっていると思われた。

- 少数ではあるが、何らかの形で科学院等での研修に自信の経験を共有してもよいというご意見がみられた。卒業生の活躍は受講生のはげみにもなると思われ、今後の研修に活かしていきたい。

- 医療安全や質に関わる事項は日進月歩で進んでおり、臨床現場で求められている役に立つタイムリーな研修を提供し、研修後も継続して支援・情報交換ができるように今後も努力したい。”